

日之出地区の誇り

永平寺の歴史と城下町の名残の町「日之出」



日之出地区には、永平寺に関わる歴史的な史跡が残っている。天正年間、一向一揆により永平寺は諸殿堂を焼失したため、第19世の祚玖は宝物を携えて北ノ庄に逃れ新永平寺を建立した。織田信長による一向一揆平定後、祚玖は旧地に帰り永平寺を再建。新永平寺は弟子の祚天に譲られ、北ノ庄の鬼門除け鎮護として鎮徳寺と改称され、現在に至る。



志比口地区には、お茶場として親しまれている「曹洞宗の仙寿院」がある。永平寺に参詣する善男善女のための湯茶の接待に努めた功績により、本山永平寺から「大本山茶場」の称号を与えられた由緒ある尼寺である。

「自分の住んでいる街をもっと知り、誇りを持とう」をモットーに、ひのでまちづくり協議会が主催して日之出小学校児童や地区の方々との探検ウォークラリーを行っている。日之出地区には埋もれた史跡がたくさんあることを発見し、NHKテレビや新聞にも紹介された。



日之出地区の中には、福井城の城下町として栄えた地区がある。「日親地区」「日之出中地区」と区分される地区で、ここには当時のまちの名前が今も自治会名として残っている。日出御門は日之出地区名の基であり、旧永平寺、西永平寺、鶴匠町、割場、新材木町など数多くある。



日之出公民館 館長
古宮 義信さん

館長の古宮さんは、「日之出地区は、福井市の中心市街地に近く商業施設も多く生活しやすい。福井県立病院や公共医療機関や介護施設、こども歴史文化館や学校など教育施設にも恵まれ、住みたくなる町として発展している」と話す。

日之出公民館

住 所／福井市四ツ井1-7-24

電 話／0776-54-0040

交通機関／えちぜん鉄道「福井口駅」から徒歩10分